

令和8年度 上尾市立瓦葺小学校 学校経営方針

1 学校教育目標

進んで学ぶ子【知】 思いやりのある子【徳】 明るく元気な子【体】

2 目指す学校像

「夢をはぐくみ 生き生きとしている学校」

- 児童の力を伸ばす学校
- 教師の働きがいのある学校
- 安心・安全できれいな学校
- 人との関わりを大切にし、地域とともに歩む学校

3 目指す児童像 瓦葺中学校区児童生徒像

「主体的で やさしく 元気な児童」

- 自ら考え学習し行動できる児童生徒【進んで学ぶ子】
- 思いやりをもち協調性のある児童生徒【思いやりのある子】
- 向上心をもちたくましく生きる児童生徒【明るく元気な子】

4 目指す教師像

「情熱をもち 使命感にあふれる教師」

- 自己研鑽を積み、「わかる授業」を行い、児童の力を伸ばす教師
- 児童に寄り添い、温かな人間関係を築ける教師
- 児童・保護者・地域・他の教職員等への気遣いのできる教師
- 児童・保護者・地域・他の教職員から信頼される教師

5 学校経営の基本方針

- (1) 学校教育目標の具現化に向けて、学習指導要領を基盤とした教育課程を実施する。
- (2) 教育公務員としての職責を自覚し、サービスの厳正に勤める。(礼・場・時)
- (3) 授業規律の徹底、あいさつと返事の励行、人の話をしっかり聴く、「チャイムで始まり、チャイムで終わる授業」等、当たり前なことを当たり前に行えるよう取り組む。
- (4) 児童一人一人のよさを認め、ほめて伸ばす指導を行う。
→児童がお互いのよさを認め合い、よさや可能性を発揮でき、他者の失敗や短所に寛容で、共感的な学級の雰囲気醸成する。また小さな変化も見逃さず、声をかけ、ダメなものはダメという厳しくも温かい指導を行う。
- (5) 「いじめ見逃し0」を徹底する。
→いじめを発見した場合は、小さなことでも一人一人の児童に寄り添いながら、迅速且つ丁寧に初期対応をし、報告・連絡・相談・確認を各自で行い、組織で対応する。
- (6) 道徳教育の充実を図り、よりよく生きようとする児童を指導・援助し、感動や自己有用感・自己存在感などを実現する体験的な活動と響き合わせた心の教育に努める。

- (7) 生徒指導・教育相談体制の充実を図り、児童理解を深め、不登校・いじめ・虐待問題への理解と対応力を高め、問題の早期発見・早期対応、解消、再発防止に努める。
- (8) 特別支援教育の充実を図り、配慮を必要とする児童への適切な支援を実施し、家庭と連携しながら、生きる力の習得に努める。
- (9) 安心・安全できれいな学校の実現のために、日常的な教育環境の点検・整備、防災教育の充実、児童・教職員の危険予知・回避能力の育成に取り組む。
- (10) 児童・家庭・地域から信頼される学校であるために、事故防止の徹底・学校マナーアップ・教育公務員としての自覚と資質向上に取り組む。
- (11) **瓦葺中学校区**で小中一貫教育を積極的に推進し、小中9年間を見据えた児童生徒の育成のため、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を行う。
- (12) 教職員が元気に児童への指導ができるよう、働き方改革を進める。
→見通しをもった仕事の仕方、統合型校務支援システムの有効活用、 unnecessary ものの見直し・削減等

6 本年度の重点・努力点

(1) 確かな学力の育成

①基礎的・基本的な学力の定着

- ・授業における「見通し・振り返り」を重視して、「わかる授業」を行う。
- ・個を伸ばす粘り強い指導を行う。
- ・自分の考えをもち、意見を発信できる子を育成する。
- ・家庭と連携し、個に応じた指導や家庭学習の充実に努める。
- ・読書活動を推進する。(学校図書館貸し出し冊数目標 17000冊)

②児童がより学習に集中できるような学習環境づくり

- ・学習者用端末(タブレット)を積極的かつ効果的に活用する。
- ・授業規律(しっかり話を聴く、挙手して発表する、「はい」と返事をする、姿勢を正しくする、机上等自分の持ち物を整とんする)を徹底する。
- ・明確な指示・発問をし、わかりやすく見やすい板書を工夫する。
- ・教室内の学習コーナーを工夫する。(既習内容が確認できるように)
- ・きれいな教室で児童を迎え、きれいな教室で1日を終えるよう整理整頓を徹底する。

(2) 豊かな心の育成

①道徳教育の充実

- ・全教育活動を通して道徳性を育成する。
- ・道徳科の授業を充実(考え、議論する道徳)させる。
- ・道徳で学んだことを実践化し、いじめを生まない学級づくりをする。(学級活動を充実させる)
- ・命を大切にし、他者と認め合い、助け合い、高め合う心を育てる。

②読書活動の充実

- ・本好きな児童を育てる工夫と手立てを充実させる。
- ・学校応援団や教師による読み聞かせを実施する。

- ・毎週水曜に「読書タイム」を設定する。
- ・学校図書館を充実させる。

③体験的活動の充実

- ・異学年交流を推進する。
- ・様々な人たちとかかわり、自分だけでなく、他者を尊重する気持ちを育てるため、学校応援団活動を推進する。
- ・黙働清掃を徹底させる。

③人権教育の推進

- ・人権を無視した言葉やいじめに繋がる言葉を遣わない人間関係を醸成する。
- ・どういう言葉や態度が人を傷つけるかを適宜指導する。
- ・「いじめをしない、させない、許さない」を徹底する。(未然防止・見逃し0)
- ・呼び捨てをしない人間関係を醸成する。
- ・SNS等における人とかかわり方を計画的に指導する。(情報教育と人権教育の関わり)

④生徒指導の充実

- ・「上尾市立瓦葺小学校いじめ防止基本方針」を全教職員で共通理解し、それにそって組織的にいじめの対応を行う。
- ・教職員が互いに情報を共有し、迅速で丁寧な初期対応と、管理職への報告を徹底する。
- ・「自ら進んであいさつ」「やさしい言葉遣い」を教師が率先垂範し、児童への指導を徹底する。

(3) 健やかな体の育成

①体力向上の推進

- ・児童が安全に対する意識をもって、運動の楽しさを味わえる体育科の授業づくりに努める。
- ・新体力テストの本校の課題を克服する手立てを明確化し、実践する。
- ・昼休みや休み時間の外遊びを奨励する。(教職員の積極的なかかわり)

②健康教育の充実

- ・家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立を図る。
- ・保健指導を大切にし、自分の心と体も友達と心と体も大切にする子を育成する。
- ・安全教育を徹底する。(登下校時や放課後における交通安全指導の徹底・効果的な避難訓練の実施)
- ・感染症対策と予防を徹底する。

③食育の推進

- ・家庭科や学級活動、体育(保健)、総合的な学習の時間等の授業の中で、担任や学校栄養士による食に関する指導を推進する。

(4) 信頼される学校づくり

①教師力の向上と組織力の向上

- ・専門職としての研究・修養に努め、授業力・学級経営力を向上させる。
- ・「報告・連絡・相談・確認」を徹底する。
- ・共通理解・共通指導と組織を生かした対応を徹底する。
- ・風通しのよい職場づくりをする。
- ・教職員のサービスの厳正と教職員事故防止を徹底する。
- ・学校の働き方改革を推進する。

②危機管理に対する意識の向上

- ・「まさか」ではなく、「もしかして」の意識
- ・危機管理の「さしすせそ」の実践
 - 「さ」最悪の事態を想定して（事態を甘く見ない）
 - 「し」慎重に（事実関係を詳細に把握し、記録をとる）
 - 「す」素早く（保護者からの問い合わせ等には3日以内にこたえる・トラブル対応は週をまたがず対応する）
 - 「せ」誠意をもって（事が起こったときは真面目に一途に対応する）
 - 「そ」組織的に（一人で抱え込まない、報告・連絡・相談・確認を徹底する）

③施設・設備等の整備・充実

- ・教材教具の充実、各教科準備室の整備
- ・老朽化所の修繕
- ・四季折々の植物を充実させて、潤いのある環境づくり
- ・児童がんばりや成長の見られる掲示、時季に応じた掲示の充実

(5) 瓦葺中学校区スタンダードの推進

- ①学習のきまりの共通指導（学習規律・家庭学習）
- ②生活のきまりの共通指導（校則・学校のルール）
- ③ICT端末利用のきまりの共通指導（家庭内のルール）
- ④小中9年間を見通した指導体制の構築（教育課程・教育形態の検討）